令和2年度 研究事業概要

# 令和2年度老人保健健康增進等事業(老人保健事業推進費等補助金)

「認知症介BPSDケアプログラムの広域普及に向けた検証事業(老健)」

# BPSDの軽減を目指したPDCAサイクルを構築するためのシステム検討

#### 目的

科学的な根拠に基づく認知症の行動・心理症状(以下「BPSD」という)の心理社会的なケアの推進に向けて、ICT と客観的な評価指標を活用した PDCA サイクルによるチームケアを促進する日本版 BPSDケアプログラムを全国展開するために、東京都が先行して行っているケアプログラムを基に最小限の改修等を実施した。主に BPSD の可視化と継続モニタリングのためにオンラインシステムや e-Learning 研修システム、研修修了者が継続的にプログラムを活用するためのフォローアップ研修、インストラクター養成研修等の運用体制、研修体制を整備することを目的とした。さらに、日本の科学的介護の実現に貢献するため、科学的介護データベース LIFE に収集するデータ項目を検討し、必要な様式の設計についても検討する。

## 概 要

#### 主な事業内容

運用体制構築ワーキンググループ及び研修体制ワーキンググループの2つの部会を設け、検討作業を展開した。

運用体制構築ワーキンググループでは、東京都がこれまでに開発したシステムを基本として、全国展開上最低限必要となる部分について、オンラインシステムの改修を行った。さらに、改修に併せて必要となった、マニュアルの修正を実施した。また、オンラインシステムの改修にあたっては、オンラインシステムで得られるデータを LIFE に登録することを目指して、データを CSV ファイルで出力するシステムを追加装備した。加えて、改修後には、システムに係る使用状況テストを実施した。

研修体制ワーキンググループでは、これまで先行実施していた東京都の研修体制や研修内容を基本に据え、研修体制構築で検討を行った。具体的には、e-Learningを用いたアドミニストレーター養成研修、さらに、アドミニストレーター養成研修を修了した者を対象としたアドミニストレーターフォローアップ研修(以下「フォローアップ研修」という)及びフォローアップ研修の指導者を養成するインストラクター養成研修の3つの研修を位置づけ、それぞれの要件や体制、開催要項案等の作成を行った。

#### 主な事業結果・成果

## 1) 運用体制構築ワーキンググループ

運用体制を構築するために、「システムユーザーテストにおける課題とその対処方法」「e-learning 受講マニュアル」、「アドミニストレーター用マニュアル」、「東京センター管理者用マニュアル」を作成した。更に、システムを運用するためのID管理の課題を抽出し対応について協議した。アドミニストレーターと利用者の参加同意の必要性、取り方について検討した。さらに、受講者情報を入手管理するための方法を検討した。令和3年度は道府県が作成する受講者名簿をもとに事業所及び東京センターと連絡調整を行うこととした。また、e-Learning 研修を考慮して、修了証の授与方法を検討した。オンラインシステムで得られるデータを LIFE に登録することを目指して、データを CSV ファイルで出力するシステムを追加装備した。

## 2) 研修体制構築ワーキンググループ

研修体制構築ワーキンググループは、主にアドミニストレーター養成研修、アドミニストレーターフォローアップ研修およびインストラクター養成研修の開催要項を検討した。目的・対象は下表のとおりとした。

	アドミニストレーター養成研修	アドミニストレーターフォローアップ研修(第1回)	アドミニストレーターフォロー アップ研修(第2回)	インストラクター養成研修
目的	1ドフロクラムの実践の知い生とだ	Learningで字習した内容の傩認・ 復習する機合を設け、オンラインシ	オンフインシステムの利用体験をアドミニストレーター同士で共有	アドミニストレーターフォローアップ 研修の運営、地域のアドミニストレー ターの活動の継続的な支援を行う等を 役割として担う者を養成
対象者	ニストレーターとして活動す ることが認められている者	アドミニストレーター養成研修修了者。*受講時期は、原則としてアドミニストレーター養成修了後2ヵ月以内とする。	オンラインシステムを利用しているアドミニストレーターとする	3名以上の利用者に対し、オンライン システムをそれぞれ3回以上実施した 経験を有する者

## 成果物